



# Vidal Sassoon

東京発、アレンジで楽しむヘアスタイル。  
ヴィダル サスーン ジャパン コレクション'94-'95より。

日本人に最も似合うボブスタイルの原型を作ったヴィダル・サスーンが、アーティストックチームとともに、東京から世界に向けて発信したニューヘアモードを誌上で紹介。

photographs: Yasuhisa Takenouchi (B.P.B.)



メアリー・クワントやビートルズと並んで、60年代、英国社会で『新エリート』と称されたヴィダル・サスーン。それまでのかちかちにスプレーで固めた手間のかかるセットヘアから、シンブルでモダン、そして何よりもハンドブローで仕上げられるという機能的なスタイルを確立。美容界だけでなく、モードの世界にも一大センセーションを起こした。布地を裁断するように、小さなはさみを使って作り上げるヘアスタイルは、乱れてさえ美しく見える。そのテクニクは、現在行なわれているカッティングの基本になっていることとはあまりにも有名。

そのヴィダル・サスーンとともに、数々のエキサイティングなヘアデザインを生み出してきたのが、彼のアーティストックチーム。「人は組織のために働くのではなく、組織とともに働くべきだ」というサスーンの考えから、'54年に結成された。現在、欧米6か国にある21のサロンのトップアーティスト30名で構成され、各地で活躍中だ。

世界のヘアモードをリードするクリエイティブ集団として年2回、ロンドンで新作を発表しているが、新たに今年から東京が発表の場選ばれた。去る9月13日、都内で行なわれたコレクションのテーマは「バイ・シック(BI.SIC)」。基本になるスタイルをスタイリング剤でアレンジしたり、分け目を変えたり、バリエーションが楽しめるヘアスタイルを提案。日本人モデルにより、ショート、ミディアムショート、ロング、パーマの4タイプが発表された。重く見える、かたいといった日本人の髪の悩みも、サスーンの手にかかると「日本人をはじめ、東洋人の黒髪は、美しいつやと弾力、ポリウムがあり、サスーン・スタイルに最適な素材です」

今回注目を集めたのは、バイアスカット。「アーティストックチームのメンバーは、年2回、一堂に会してアイデアを出し合います。このバイアスカットは、インターナシ

ヨナル・クリエイティブ・ディレクター、ティム・ハートレーの発案です。布地をバイアスにカットしてボディにそわせる服作りのテクニクに似ています。トップの毛を長くしているのが、バリエーションが作りやすく、スタイリングによって手軽に違う雰囲気を出せます」と、イーストコースト・クリエイティブ・ディレクター、マーティン・ダフは語る。また、カラリングにもバイアスカットを引き立てるためのテクニクが、カラリン

## japan VIDAL SASSOON collection



ヴィダル・サスーン(中央右)を囲んで、今回来日したアーティストックチーム。ヴィダル・サスーンとともに、カラー&テクニカル・リサーチ・ディレクター、アニー・ハンフリー(右端)とその妻、イーストコースト・クリエイティブ・ディレクターのマーティン・ダフに話をうかがった。

グのエキスパート、アニー・ハンフリーは、「髪の色を変えることが第一の目的ではありません。バイアスカット独特の立体感や髪の動きを引き出すためのもので、ロングヘアでは、微妙に違う4色のカラーをつかって相乗効果をねらい、髪の流れを美しく見せています」カットを基本に、カラリングやパーマで自由なイメージチェンジできるのが魅力の、今回のジャパン・コレクション。今秋から、都内と鎌倉のサロンで体験できる。(左ページ参照)



前髪とサイドをタイトにまとめるとシャープに、ラフにするとソフトな印象になるパーマヘア。パーマをかけるとうるみの反射で髪の色が違って見えるため、黒髪の深みが出るようにブルーのヘアマニキュアを全体にしている。顔が平面的で後頭部がまっすぐの日本人でも立体的なフォルムの出せるスタイル。



右は、バイアスカットで、丸みを帯びたアウトラインにしたミディアムショートヘア。左は、トップからリボンをつらしたように微妙に異なる4色のカラリングを行ない、ストレートヘアに動きを出したロングヘア。



ヴィダル・サスーンの最新テクニック、バイアスカットと、深みのあるレッド系2色をつかったバイアスカリングを取り入れたショートヘア。長めにカットした前髪の分け目やラインの作り方で、イメージをがらりと変えることができる。バイアスカットの発案者、ティム・ハートレーによる。

ヴィダル サスーン ジャパン コレクションが体験できるサロン 東京・青山 スギモト 電話03-3486-1777 / 東京・原宿 クレアホール内野 電話03-3486-8182 / 東京・自由が丘 テットアテット 電話03-5701-8886 / 鎌倉 キングダム 電話0467-23-7255  
お問合せは、ヴィダル サスーン事務局 電話03-3264-6736へどうぞ。

